

平成20年度 12月補正予算案の概要

京 都 府



編成の基本的な考え方

世界的な金融危機による経済の急速な悪化が、中小企業や府民の暮らしに大きな影響を及ぼすことが懸念される中、9月補正に引き続く「京都府第2次緊急経済対策」を中心に予算を編成

「京都府第2次緊急経済対策」

- ◆ 中小企業の緊急経営支援
- ◆ 府民の生活相談強化
- ◆ 安心実現のための緊急基盤整備

防災・ネットワーク緊急基盤整備、地域密着型緊急基盤整備



中小企業の緊急経営支援

府市協調

中小企業緊急資金対策融資の創設

5,000百万円

(平成21年1月1日～)

追加融資枠 400億円

◎618の不況業種(府内中小企業者の約6割)をサポート

※国の緊急保証制度利用者を対象

◎融資利率(年1.8%)、融資期間(最大10年)

※現行のあんしん借換融資に比べ△0.1%の金利優遇

- 当初予算 原油価格高騰対策等特別支援制度の創設(融資枠200億円)
- 9月補正 原油・原材料価格高騰対策緊急金融支援の実施(融資枠400億円)



府民の生活相談強化

多重債務者向け相談体制の強化

1百万円

◎弁護士無料相談の実施

府北部・中部・南部地域において実施(隔週実施)

◎消費生活安全センター相談窓口の時間延長

相談受付を19時まで延長(2時間延長)

生活者こころの健康相談窓口の緊急設置

1百万円

◎精神保健福祉総合センターに専門相談員を配置

電話相談、面接相談の実施



安心実現のための緊急基盤整備

防災・ネットワーク緊急基盤整備

2,230百万円

防災対策

◎河川浸水被害対策、道路災害防除対策 等

交通の安全確保対策

◎緊急踏切安全対策、道路構造物保全対策 等

安心・安全の道路ネットワークの整備

◎府内高速道路(京都縦貫自動車道、第二京阪道路)の整備

地域密着型緊急基盤整備

270百万円

◎河川の避難路等の整備、道路舗装等の小規模修繕 等



補正予算の規模

一般会計 7,508百万円

12月補正後予算額 839,997百万円

【 参 考 : ⑰12月補正後 835,288百万円 】